



「和氣」「根氣」「活氣」



西郷義務教育学校 学校便り 校長 甲斐 誠

○ 生徒会退任式・任命式

11月12日に生徒会退任式と任命式を行いました。本校では年齢が上がるにつれて「教師主導型」から「子ども主体型」の教育活動に移行することを目指しています。9年生を中心とした旧生徒会役員は子どもたちの考えを聞き、それをもとに何をすべきか何ができるかを考え、仲間や先生と相談し意見を出し合い調整しながら学校行事などの教育活動を作り上げてきました。9年生のお兄さんお姉さん、後期ブロックの生徒会役員は子どもたちのお手本であり、子どもたちにとって憧れの存在・頼もしい存在だと思えます。これまで活躍してきた生徒会役員が引退し、新しい生徒会役員にバトンを渡すのが退任式・任命式です。退任式では9年生4人が笑顔あり涙ありの中、自分が生徒会役員の経験をとおして学んだことや周囲への感謝の気持ちを語ってくれました。新任式では9名の生徒会役員を代表して、会長の中武みのりさんがあいさつを述べました。1年間、よろしくお願ひします。新生徒会役員とあいさつの内容を紹介させていただきます。

会長 副会長	生徒会長	中武みのり⑧	運動会	実行委員長	三股利央⑧
	副会長	橋口拓夢⑦		副委員長	桑津理仁⑦
	副会長	中村愛姫⑥	文化発表会	実行委員長	山澤拓実⑧
送別 行事	実行委員長	中村天海⑧	← ↑【新生徒会役員の皆さん】→	副委員長	柳澤咲空⑦
	副委員長	山内蒼生⑥			



私たち9人には、選挙で語ったように熱い想いがあります。想い描いている学校に近づけるように企画した活動をすべて実行できるように全力を尽くします。これからの活動において全校の皆さんに協力をお願いすることがあると思います。様々な活動や行事、挑戦を皆で一体となって取り組んでいけるような雰囲気を作っていきたいと思ひます。これから1年間私たち生徒会役員をよろしくお願ひします。【新生徒会長 中武みのりさんのあいさつ】

○ 生徒会役員選挙

今年の生徒会役員選挙には4年から9年生が参加しました。立候補した子供たちは8年生5人、7年生5人、6年生10人でした。こんなに高い割合で子どもたちが立候補していることに驚きました。立候補するには勇気が必要です。人前で話すのは緊張するし、作文を書くことが負担と感じる子どももいます。どうして、こんなに多くの子どもたちが立候補したかを考えてみると「挑戦することはカッコいい」という雰囲気が学校の中にあるからだと思ひます。下の文章は前生徒会長が生徒会選挙告示の際に、子どもたちに語ったメッセージです。後輩が挑戦する気持ちになるのが分かります。

こんにちは生徒会長の桑津理子です。私が生徒会役員を3年間務めて感じたことの結論としては「いい経験できたな」です。私が6年生の時に生徒会に持っていた「固い」という印象は3年間活動して大きく変わりました。

今、立候補しようか迷っている人に、私が生徒会役員になってよかったなと思うことを2つピックアップしたので紹介します。

1つ目は「人前で話す力が身につく」です。私も生徒会に入るまでは「自分は何かあっても緊張しない」とずっと思っていたのですが生徒会に入って初めて全校生徒の前で話したときに膝が震えるほど緊張したことをいまだに覚えています。生徒会役員は全校生徒の代表として話すチャンスがたくさん回ってきます。中学生のうちにこれだけ場数を踏めるというのは生徒会役員だけの特権です。2つ目は「一生の思い出になる」です。自分たちが企画したもので全校生徒が盛り上がり楽しんでる姿を見るとすごく感動するし、一生忘れないと思ひます。また、生徒会役員には7~9年生の3学年で話し合うのですが先輩後輩関係なしにみんなの意見が尊重され、みんな一生懸命動きます。そんな環境の中での活動はすごく楽しいし、仲が深まったなと思ひます。

この2つが私が立候補してよかったなと思ひた理由です。今、挑戦してみたいけど人前を出ることを怖がったり恥ずかしかったり、もしくは選挙で選ばれないんじゃないかと不安で挑戦できない人も中にはいると思ひます。でも周りや私は、失敗しても選挙に選ばれなかったとしても勇気を出して挑戦したことがすごくカッコいいなと思ひます。



【旧生徒会役員の皆さん】

幼稚園・学校の様子

12月

伝統芸能継承

5年生と6年生は総合的な学習の時間に神楽と白太鼓の伝統芸能を学んでいます。1学期後半から地域の指導者の皆さんが子どもたちの指導に来校してくださいました。大変ありがたいことです。

学校での発表会は12月6日の午前中に行われました。保護者の皆さんや読み聞かせボランティアの皆さんが多数来校され練習の成果を披露することができました。



【神楽披露】



【白太鼓披露】

学校での発表の前に白太鼓は11月3日に若宮神社大祭で奉納しました。また、田代神社大祭において11月16日に浦安の舞、11月17日に神楽の七鬼神の舞を子どもたちが奉納しました。子どもたちが参加すると、地域に笑顔が増えることを実感しました。あたたかい目で子どもたちを見守り、参加した子供にはお土産まで準備していただきありがとうございました。



【若宮神社での白太鼓】



【浦安の舞】

今年から祭参加は学校行事ではなく、家庭の判断による自由参加としました。今年度の様子を振り返って私自身、考えたことが2つあります。

- ① 子どもたちの活動を楽しみにしている方々がいる。強制はできませんが、できるだけ地域の祭に参加するように学校としても呼び掛ける。指導者の皆さんにも想いを語っていただく。
- ② 家庭の計画を立てやすいように、祭への参加依頼文書は1か月前には発送する。参加者が少ない場合は7年8年にも参加を依頼する。

子どもたちが参加するのを楽しみにしている方々がいらっしやいます。子どもたちも自分が地域に喜びや笑顔を届けることができると実感できることは人格形成において有意義なことだと考えています。

他の地域の様子を見聞すると、最近、「祭の実施」「子どもたちの参加」とどちらも簡単な時代ではなくなっているかもしれません。できるだけ地域にとって素敵な時間が継続できるように学校も努力していきたいと思いました。

11月8日学校保健委員会・奉仕作業

11月8日に後期参観日を実施しました。参観授業が学校保健委員会で、内容は「性に関する教育」でした。話を聞いていて思ったことは「寝た子を起こすな」的な性教育から、「色んなことを話せる関係、何かあったら相談できる関係づくり」への性教育に変わってきているということです。参加した子ども達と保護者の皆さんにとって学びある時間になったと思います。

この後に9年生は入試制度説明会、その他の学年は親子奉仕活動を行いました。奉仕活動では学びの坂や駐車場の落ち葉集め、運動場側溝の土あげを行いました。学校の環境整備に協力いただきありがとうございました。おかげさまで、大変きれいになりました。



【学校保健委員会】



【奉仕活動】

家庭教育学級「えほんの郷」

11月22日に家庭教育学級を行いました。内容は木城町「えほんの郷」の視察です。美郷町と同じような豊かな自然の中に施設がありました。敷地内には様々な施設があり、自然の中での体験活動と絵本との出会いの中で感性を育む空間はとても素敵なおのでした。



【えほんの里】



1月行事予定

6日(月)	始業の日 始業式
9.10日	地区実力テスト(8.9年)
14日(火)	避難訓練(火災)
17日(金)	第3回英語検定
21日(火)	クラブ活動3年見学
22日(水)	表彰集会(朝)
28.29日	私立高校入試



※ 冬休みは「車、水、金・火・人」に注意して過ごしましょう